

# 爬虫類

(1) 爬虫類相の概要

長崎市では、長崎県版レッドデータブックで指定している13種のうち、6種が生息している。クサガメ、ジムグリ、アオダイショウは長崎県版では絶滅危惧種に指定されていないが、長崎市内での減少が著しいことから新たに加えた。アカウミガメは高浜町など一部の砂浜で産卵の確認がされているが、その数は少ない。また、ニホンイシガメは長崎市内では、ほとんど見られなくなり、絶滅した可能性もある。一方、ヤクヤモリは九州南部の狭い範囲に分布する種であるが、何故か長崎港に浮かぶ野島と黒島の無人島だけで発見されている。いわゆる長崎市特産種である。長崎市には3種のヤモリ属が分布しており、そのうち海岸の岩場を主な生息域とするヤクヤモリとニシヤモリが指定対象種であり、市内全域の人家に生息するニホンヤモリは個体数も多く指定されていない。

(2) 爬虫類リスト

	科名	和名	県区分	環境省区分	ページ
絶滅危惧 ⅠA類 (CR)	ウミガメ科	アカウミガメ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	80
絶滅危惧 ⅠB類 (EN)	ヌマガメ科	ニホンイシガメ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	情報不足 (DD)	80
	ヤモリ科	ヤクヤモリ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	80
絶滅危惧 Ⅱ類 (VU)	ヤモリ科	ニシヤモリ	準絶滅危惧 (NT)	—	80
準絶滅危惧 (NT)	ヌマガメ科	クサガメ	—	—	81
	ナミヘビ科	シロマダラ	準絶滅危惧 (NT)	—	81
	ナミヘビ科	ジムグリ	—	—	81
	ナミヘビ科	アオダイショウ	—	—	81
情報不足 (DD)	スッポン科	ニホンスッポン	情報不足 (DD)	情報不足 (DD)	82

**アカウミガメ** (ウミガメ科)**絶滅危惧 I A類(CR)***Caretta caretta* (Linnaeus)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)  
 環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

**分布**

市内 ; 旧野母崎町の砂浜海岸、西彼杵半島の砂浜海岸  
 県内 ; 西彼杵半島、島原半島、五島市、壱岐市、対馬市

**摘要**

太平洋全域を広く回遊し、長崎県を含む九州で夏季に繁殖する。夏季の夜の砂浜が産卵場所となるが、海水浴客などが砂浜にいると上陸できない。産卵には、満潮時でも海水に浸らない砂浜が必要であるが、護岸工事により産卵可能な砂浜が減少している。



長崎ペンギン水族館 写真提供

**ニホンシガメ** (ヌマガメ科)**絶滅危惧 I B類(EN)***Mauremys japonica* (Temminck et Schlegel)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)  
 環境省カテゴリー ; 情報不足 (DD)

**分布**

市内 ; 不明  
 県内 ; 五島市

**摘要**

北海道を除く日本全域に広く分布する日本の固有種。全国的にも減少傾向にあるが、長崎県では極端に減少している。長崎市内ではほとんど確認されておらず、まれに見つかる個体は放流個体と思われる。長崎市内の河川やため池は移入種のミシシippアカミミガメとスッポンだけになっており、絶滅した可能性も高い。

**ヤクヤモリ** (ヤモリ科)**絶滅危惧 I B類(EN)***Gekko jakuensis* Matsui et Okada

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 蚊焼町野島・黒島  
 県内 ; 長崎市蚊焼町野島・黒島

**摘要**

全身が黄色味を帯びている大型のヤモリ。九州南部の一部と屋久島・種子島に局地的に分布し、長崎県に生息することが不思議なヤモリ属の一種。海岸の岩場が主な生息場所。長崎半島蚊焼沖に浮かぶ野島と黒島だけに分布しており、周辺の半島や島々では確認されていない。

**ニシヤモリ** (ヤモリ科)**絶滅危惧 II 類(VU)***Gekko* sp.

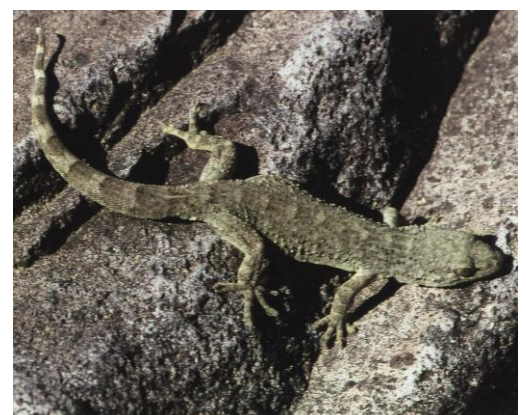
長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 旧外海町の海岸、三重町の海岸  
 県内 ; 五島列島、男女群島、西彼杵半島、平戸市

**摘要**

長崎県と鹿児島県の一部のみに生息し、長崎県が主な生息場所となっているヤモリ属の一種。五島灘周辺の海岸の岩場に生息し、初夏に岩の割れ目の隙間に産卵し夏にふ化する。冬季は岩の割れ目の奥で冬眠し、主に小昆虫を捕食。県内に広く分布するニホンヤモリとすみ分けが見られる。



### (3) 爬虫類

#### クサガメ (ヌマガメ科)

準絶滅危惧(NT)

*Chinemys reevesii* (Gray)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 旧琴海町、旧外海町、東長崎地区  
県内 ; 県本土全域、五島列島、壱岐市、平戸市、対馬市

##### 摘要

主に水田やため池に生息。河川に生息することもあるが、泳ぎはあまり得意ではない。都市部においては、ニホンイシガメほどではないが減少している。移入種のみシシッピアカミミガメが増加する一方で、都市部の河川やため池からはいなくなっているが、農村地帯の水田や水路ではまだ見られる。



#### シロマダラ (ナミヘビ科)

準絶滅危惧(NT)

*Dinodon orientala* (Hilgendorf)

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧(NT)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 都市部を除く市内全域  
県内 ; 県本土全域、五島列島、男女群島、壱岐市、平戸市

##### 摘要

赤みがかった白地に黒褐色のまだら模様が一行に並んでいる。夜行性で小型。トカゲや小型のヘビを捕食する爬虫類食の爬虫類。気が荒く捕まえようとするとすぐに噛みつくが、毒はない。夜行性のため一般の人にはほとんど知られていない。夜間の交通事故による轢死体を目撃することがある。



#### ジムグリ (ナミヘビ科)

準絶滅危惧(NT)

*Elaphe conspicillata* (Boie)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 都市部を除く市内全域  
県内 ; 県本土全域、平戸市、五島列島、壱岐市

##### 摘要

茶褐色の背面に黒い斑点が散在し、腹面は赤と黒のまだら模様がみられる。土に潜り、小型のネズミを捕食する。また、木に登って小鳥を捕食することもある。和名は土の中に潜っているところからつけられたらしいが、実際を目撃は河川や山間部の道路上が多い。幼蛇は全身が真っ赤で黒い横紋のある派手な姿をしている。



#### アオダイショウ (ナミヘビ科)

準絶滅危惧(NT)

*Elaphe climacophora* (Boie)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 都市部を除く市内全域  
県内 ; 県内全域

##### 摘要

草色をした日本最大のヘビ。人家周辺にも生息し、ネズミ等を捕食することから家の守り神ともいわれていたが、現在ではほとんど見られない。昔は「いえぐちなわ」とか「ねずみとりぐちなわ」という方言で呼ばれており、家やネズミとの関係が伺える。市内全域の山林で目撃することはあるが、近年かなり減少している。



## ニホンスッポン (スッポン科)

情報不足(DD)

*Pelodiscus sinensis* (Wiegmann)

長崎県カテゴリー ; 情報不足(DD)

環境省カテゴリー ; 情報不足(DD)

### 分布

市内 ; 中島川、浦上川、浦上水源地

県内 ; 対馬市を除く県内各地

### 摘要

スッポン鍋の食材として有名なため養殖が盛んに行われており、いろいろな河川に放流されることも多い。背中は平たく柔らかで、クサガメのような六角形の甲板は見られない。水中に潜っているときは鼻だけを出す。性格は荒く、捕まえると首を伸ばして噛みつく。



### (3) 爬虫類